

まちのわだい



豊かな緑を私たちの手で

～第64回全国植樹祭～

天皇皇后両陛下ご臨席のもと、第64回全国植樹祭が5月26日、とっとり花回廊で開催されました。鳥取県での開催は、48年ぶり2回目となる全国植樹祭では、県内外から約5千人が花回廊に招待されました。

記念式典では、平井鳥取県知事の力強い主催者あいさつに続いて、天皇皇后両陛下によるお手植えとお手播ぎが行われました。お手播ぎでは、八郷小学校の児童たちが介添え役を務め、ヤマザクラやクリ、イロハモミジなど4種類の種を播かれました。また、町内小学生の代表が、アトラクションや式典の介添えを行ったり、岸本・溝口中学校の吹奏楽部員が加わった式典音楽隊による演奏で、イベントを盛り上げました。

最後のリレーセレモニーでは、来年の開催地新潟県の泉田知事に、大会シンボルの木製地球儀が引き継がれ、式典を終りました。



八郷小学校の児童から説明を受けた後、お手播きされる天皇陛下

日本の在来植物を守れ！

～特定外来生物

オオキンケイギク除去作業～

日本の在来植物を守ろうと5月31日、外来の植物「オオキンケイギク」の除去作業が行われました。

二部地区で行われた除去作業には、県や町の担当者や地元ボランティアなど、およそ20人が参加しました。参加者たちは、県道沿いのおよそ1kmにわたって黄色い花を咲かせているオオキンケイギクを、根元から抜き取っていました。

オオキンケイギクは、アメリカ原産のキク科の植物です。鑑賞目的に輸入されたものが自生し、繁殖力が強いことからカワラナデシコなどの日本の在来植物を圧迫すると、栽培や輸入を規制する特定外来生物に指定されています。

この日はおよそ1時間の作業で、2トントラック1台分のオオキンケイギクが除去されました。

皆さんも、オオキンケイギクを見かけたら、除去処理にご協力いただきますようお願いいたします。



オオキンケイギクを根元から抜き取る参加者

自然と触れ合う楽しさを学ぶ

～米フェスタ2013～

米や農業への理解を深めるきっかけにしてほしいと「米フェスタ2013 おいしい米づくり」にトライ！が6月2日、丸山の「ふれあい交流田」で開かれ、過去最多の約400人が参加しました。

今年で26回目を迎えるこの催しには、個人の参加に加えて、JAの「こどもあぐりスクール」のメンバーや、みずほ米穀などの親子連れの参加もあり、大変にぎわいました。

米子田植え唄保存会の会員の歌声に乗せて、丸山集落宮農組合員の指導で、一列に並び約20アールの水田にコシヒカリなどの苗を植えていきました。

水田の中央には、大山の姿が水田の水面に逆さまに映った様子を模して台形の形でロープが張られ、ロープの内側に古代米を植えました。秋には紫の稲穂の「逆さ大山」が浮かび上がります。



豆綱に沿って苗を植えていく参加者